

「令和7年度新潟市 J-クレジット普及推進協議会 総会」を開催します
～農業分野における全国初の自治体運営管理のプロジェクト～
令和8年度より J-クレジットの販売を開始予定！

本市では、水田から排出される温室効果ガス（メタンガス）削減を目的とした「新潟市みどりの農業推進プロジェクト」において、官民で組織する新潟市 J-クレジット普及推進協議会が中心となり、国の J-クレジット制度を活用した脱炭素の取り組みを進めています。

令和7年度は、J-クレジットの創出に向けて、「水稻栽培における中干し期間の延長*」に着手し、令和8年度上期より、いよいよ J-クレジットの販売を開始する予定です。

このたび、令和8年度における J-クレジットの販売方針等を協議する総会を下記により開催しますので、取材・広報にご協力いただきますようお願いいたします。



※水稻栽培における中干し（なかぼし）とは

- ・水田の水を落とし土壌を乾かす作業のことで、稲の過剰生育の抑制や根の活力維持などに効果があります。
- ・国の試験研究では、中干し期間を直近2か年以上の実施日数の平均より、7日間以上延長することで、土壌中のメタン生成菌の働きを抑制し、温室効果ガスの一つであるメタンの発生量を3割削減する効果が実証されています。

■日時：令和8年3月24日（火） 14：00～15：30

■会場：新潟市農業活性化研究センター 研修室（新潟市南区東笠巻新田3043-1）

■内容：令和7年度事業実績（J-クレジットの認証・発行に向けた取り組み実績 等）
令和8年度事業計画（案）（J-クレジットの販売方針 等） 他

※総会は報道公開とし、閉会后に市農林水産部長（協議会会長）のぶらさがり取材を行います

■出席予定者

- ・市内農業生産法人9社
- ・新潟市農業協同組合、新潟かがやき農業協同組合
- ・（株）第四北越銀行、第四北越リサーチ&コンサルティング（株）
- ・（公財）食の新潟国際賞財団
- ・新潟市（農林水産部長） ほか

■取材申し込み

取材を希望される方は、別紙の申込書に記入の上、3月13日（金）正午までにFAXでお申込みください。



【お問い合わせ先】

新潟市農林水産部 農業活性化研究センター 担当：戸田、高橋（良）
電話：025-362-0151（直通） FAX：025-362-0153

別 紙

令和7年度新潟市J-クレジット普及推進協議会 総会の取材申し込み

取材を希望される方は、以下にご記入のうえ、3月13日（金）正午までにFAXにてお申込みください。

(送信先) FAX番号：025-362-0153 農業活性化研究センター 宛

貴社名		所属	
役職／氏名			
人数	人	カメラ有無	スチールカメラ 台 ムービーカメラ 台
TEL 番号 (中止時の連絡用)		FAX 番号	

(お問い合わせ) 新潟市農林水産部農業活性化研究センター TEL：025-362-0151